

【別紙】ロードマップ（案）

都道府県名	市町村名	経営戦略名
愛知県	犬山市	犬山市下水道事業経営戦略

①経営健全化に関する定量的な業務指標及び目標年限（該当部分抜粋）

基本方針の実現に向けた経営目標を以下の通り設定し、具体的な数値目標を掲げることで、経営の見える化を図ります。

項目	令和5年度 (実績)	令和11年度	令和16年度
経費回収率 (%)	68		100
水洗化率 (%)	87	93	96
不明水率 (%)	36	33	20

②-1 収入増加のための具体的取組及び実施時期（該当部分抜粋）

■水洗化率の向上

下水道接続のPRを継続して実施し、本経営戦略では令和5年度末の87%から令和16年度末で96%の水洗化率の向上を目標とします。

■下水道使用料の改定

令和6年度に下水道使用料の改定について検討を行い、段階的な下水道使用料改定の実施を予定しており、第1段として令和7年度での改定を予定し、令和〇年度までに経費回収率100%以上を目標とします。

②-2 支出削減のための具体的取組及び実施時期（該当部分抜粋）

■不明水対策

令和10年度以降に従来以上に改築工事を促進して不明水の削減を図り、不明水率を令和5年度末の36%から令和16年度末で20%まで向上する目標とします。

■広域化・共同化

令和4年度に愛知県が策定する「愛知県汚水処理広域化・共同化計画」において、「管路施設の点検・調査の共同化」に参画し、令和6年度から共同発注を実施しています。

また、農業集落排水事業については、公共下水道への接続を検討していきます。

■民間活用の検討

将来的には、老朽化した管路が増加し、職員数の減少等により適切な維持管理や更新が困難になるおそれがあります。

そのため、民間事業者のノウハウを生かし、効率的な業務を行っていくため、今後、ウォーターPPP等の民間活用の導入に向けて検討を行います。

③収支構造の改善の要否等について、少なくとも5年に1度の頻度で、定期的な検証・見直しを行う旨（該当部分抜粋）

毎年度の決算後に実績との比較を行い、実態と大きく乖離する場合は、その原因を分析します。

また、5年ごとの中期スパンで経営分析等の再検討を行い、必要がある場合は計画の見直しを行います。